

しおじり

平成27年 10月15日

No. 196

9月定例会号

市議会だより



水のある暮らし

鮎釣大会

～ハッピー、すげ傘、和竿でアピール～

発行 塩尻市議会

〒399-0786

長野県塩尻市大門七番町3番3号

電話 (0263) 52-0280 FAX (0263) 52-3969

URL <http://www.city.shiojiri.lg.jp>

Eメール gikai@city.shiojiri.lg.jp

編集 塩尻市議会基本条例推進委員会
広報部会

もくじ

9月定例会概要 ほか	2
委員会の焦点	3
一般質問の要旨	4
平成26年度決算概要	10
提出された議案及び議決結果	11
市民の声・議会あれこれ ほか	12

議会トピックス

- ▼ 平成26年度の各会計決算についてすべて認定
- ▼ マイナンバー制度に関する条例改正等を可決
- ▼ 新体育館建設決定
基本計画策定委託料を含む一般会計補正予算を可決

9月定例会

8月31日
～
9月25日

9月定例会概要

9月定例会では、市長から平成26年度の一般会計、特別会計の決算認定など、42件の議案が提出され、審査を行いました。

主な議案

○議案第1号 平成26年度塩尻市一般会計歳入歳出決算認定について

歳入 294億3,970万円余
前年度対比7.2%増

歳出 287億2,411万円余
前年度対比7.6%増

歳入 景気の回復基調により、法人市民税などの市税が増額となった。地方交付税は、普通交付税が個別算定経費の減などにより、また、特別交付税が除排雪対策費の減などにより、いずれも減額。

歳出 義務的経費の人員費、扶助費、公債費が増額。庁舎耐震改修工事、ふれあいセンター、広丘建設工事、塩尻東小学校大規模改修工事などの大型事業の実施に伴い、普通建設事業費が大幅に増額。

○議案第12号 塩尻市個人情報保護条例の一部を改正する条例

「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」が平成27年10月5日から施行され、マイナンバー制度が開始することに伴い、特定個人情報の収集、利用及び提供について制限をするなどの改正をするもの。

○議案第15号 塩尻市介護予防交流施設条例の一部を改正する条例

地域住民が主体的に介護予防に取り組み、高齢者を支える地域づくりを推進するため、大門三番町・四番町介護予防交流施設を設置することに伴い、必要な改正をするもの。

○議案第25号・第32号 平成



議場の様子

補正予算歳出（目的別）

議会費	53千円
総務費	343,264千円
民生費	1,951千円
衛生費	12,132千円
労働費	19,874千円
農林水産業費	32,943千円
商工費	822千円
土木費	56,249千円
消防費	2,136千円
教育費	4,578千円
災害復旧費	1,728千円

27年度 塩尻市一般会計補正予算（第3号）（第4号）

歳出の主なもの

総務費 策定中の「シティプラン」を速やかに推進するため、下半期から実施する事業費を増額するもの。また、平成26年度繰越金の一部を、財政調整基金に積み立てるもの。

農林水産業費 国の畑作物の直接支払交付金の対象者が、認定農業者等に限定されたことに伴い、補助金を補正するものなど。

土木費 市道南熊井郷原線の歩道部分について、松本歯科大学から土地の寄付を受けることに伴い、歩道改修工事費等を補正するもの。

教育費 新体育館の建設決定に伴い、基本計画策定委託料を補正するもの。

新体育館建設決定

新体育館に関する特別委員会

今定例会において、新体育館に関する特別委員会を3回開催し、市民アンケートの結果を受け、各委員が建設賛否に対する意見を表明し、賛成14人、反対2人の結果を受け、特別委員会として新体育館を建設することに決定しました。賛成の理由は、アンケートで賛成が僅差ではあるが反対を上回ったこと、合併特例債が使えること、現体育館を改修しても、天井の高さなど、解決されない課題が多くあること等が出されました。反対の理由はアンケートで大きな差がなかったこと、維持管理費が今後20年間で15億円を超えることなど財政負担が大きいこと等でした。

新体育館を建設すると決定したことに伴い、基本計画策定委託料が補正予算で提案されました。27年度はどこまで進められるのかとの質問に、基本計画を策定し議会に報告したい旨、また計画策定に関わる委託業者についての質問では、現在検討中であるとの回答を受けました。

委員会の焦点

～委員会審査報告から～

温泉開発の可能性は

産業建設委員会

産業建設委員会に付託された議案は、決算案件5件、条例案件3件、事件案件1件、予算案件4件で、いずれも原案のとおり認定及び可決すべきものと決しました。平成26年度一般会計決算認定の審査の中で、熱利用調



片丘地区内での実施された源泉についての地質調査

査委託料の内、地質調査業務委託料の内容と成果について質問があり、地元をはじめとして、要望の強い温浴施設についての可能性を探るため、電磁探査による温泉掘削の可能性について調査を行い、温泉開発の可能性が高いとの結論を得た、民間が主体となる活用法を探っていきたいとの答弁がありました。他にも、

しおじり街元気カンパニーの経営状況について事業報告書及び決算報告書の提出と説明を求め、同時に今後の事業運営について質しました。さらに、塩尻駅西口の区画整理事業に関して、随意契約をおこなったコンサルタントの概要がわからないため、資料の提出と、具体的な説明を求めました。

市施設の無償譲渡と 条例廃止

福祉教育委員会

福祉教育委員会に付託された議案は、平成26年度一般会計および3つの特別会計の決算認定、条例案件3件、指定管理者の指定3件、財産の無償譲渡2件、補正予算案件2件で、いずれも全員一致で認定及び可決すべき

ものと決しました。障害者福祉センター条例、障害者就労支援施設条例を廃止する条例案は、広丘野村にある当該施設を塩尻市社会福祉協議会に無償譲渡することに関連するものです。障害者施設の充実を図り、効果的、効率的な管理運営を確保し、障がい者の福祉向上に資するという説明がありました。

改修費用負担や指定管理料がなくなると、受ける側の採算は取れるのかとの質問に、現在も収益があり、自主事業が増えて障がい者の利用増が見込まれ、社協側も了解しているとの回答がありました。また、教育関係の請願1件を採択すべきもの、更に陳情1件を採択と決しました。



障害者就労支援施設 そよ風の家

より堅実で有効な 財政運営を

総務生活委員会

総務生活委員会に付託された議案は、所管する会計の平成26年度決算認定をはじめ、条例案件2件、事件案件1件、予算案件4件で、原案のとおり認定及び可決すべきものと決しました。また、6月定例会

から継続審査となっていた安保関連法案関係の請願、陳情各一件はいずれも不採択となりました。これらの中で、平成26年度一般会計決算の状況は、歳入総額294億円余に対し歳出総額は28億円余となり、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は、約6億5千万円の黒字となったことが



分厚い決算書

説明されました。こうしたことにより、市の「貯金」とも言える財政調整基金は、38億円余で過去最高となりました。しかしながら、今後、新体育館建設など多くの事業が予定されています。厳しい財政状況の中で一層堅実な財政運営はもちろん、より有効な予算配分や基金の活用が求められます。

市政を問う!!

質問者

- 平間 正治
- 永井 泰仁
- 山口 恵子
- 小澤 彰一
- 西條 富雄
- 古畑 秀夫
- 村田 茂之
- 柴田 博
- 中野 重則
- 篠原 敏宏
- 中村 努
- 横沢 英一

(質問順)

※本文は質問者自身の原稿によるものです

一般質問の要旨

新体育館 建設を問う



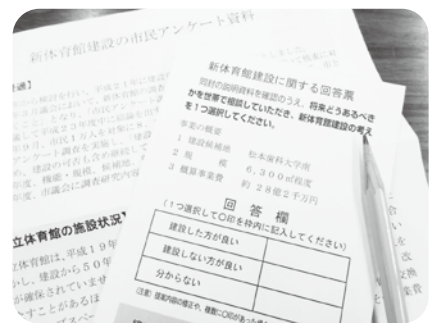
◆スポーツ推進計画の中核に

問 長い期間の議論を経て市長、議会共に結論の判断に窮し、賛否を問うため覚悟をもったアンケートにより決することとなった。最終判断である事は周知され、回収率は低かったものの、回答を寄せていただいた市民の気持ちを推察すると、僅差ではあっても結果は重く、覆す程の理由は見いだせない。スポーツ推進計画の中核となるような施設として整備すべきだが、市長の考えはどうか。(中村)

答 決断する時期に来ている。スピード感を持って完成させたい。新体育館は地方創生の



現 市立体育館



アンケート用紙

キーワードになるような宿命を持っている。

◆大学との連携を

問 現体育館は利用面からも課題多く、今後どの位使用可能か。また新たに建設する場合、近接する松本歯科大学と連携しスポーツ施設や健康づくりセンター活用で付加価値も生まれるが考えは。(横沢)

答 耐用年数は20年程度。隣接する松本歯科大学との連携については、ソフト・ハード面を含め協議していきたい。

◆市財政への影響は

問 反対意見が44%あったが市民の理解をどのように得ていくか。(古畑)

答 スポーツ施設だけの機能ではなく、造って良かったと多くの市民が思える施設にしていく。市財政は新体育館建設後も健全性を維持できるも

のと見込んでいる。

◆建設の判断基準

問 アンケート結果の捉え方は。(平間)

答 建設する場合の機能、規模、候補地、費用等を示した上で最終判断を求めたもの。したがって、賛否はきつこうしたが賛成が上回ったことは事実であり、判断する大切な要因となる。

問 建設費の上限は。(平間)

答 アンケート時に示した28億2千万円を上限としたい。

◆財源と維持費は

問 新体育館を整備するとしても既設体育館の補修は必要になる。新旧合わせて必要な予算と維持費の合計はどうか。(柴田)

答 現体育館の補修については今後検討する。維持費については新体育館6千800万円、



開発誘導エリアの松本歯科大学南地域



現 市立体育館アリーナ

現体育館900万円、計7千700万円と試算している。

問 私は新体育館整備ではなく、サブアリーナの新設も含めた現体育館の大規模改修がよいと考える。(柴田)

◆新体育館アンケートに見る市民関心度。低かった回答率の示すところとそのリアクションについて

問 他議員の体育館の質問と視点を変え、低かった回答率をどう分析しているのか。(村田)

答 約6割の世帯から回答を頂けなかったことは非常に残念だ。しかしながら今回のアンケートは年代、地域など取らない方式であったため十分な分析ができていない。

問 選挙も同じ傾向を示していると思う。年代の高い層は投票率も高いが、低い層は極

子育て環境の整備



◆産科医確保
問 現状と対策は。(永井)

答 日本産科婦人科学会の発表では、新たに産科医師にな

答 検討していく。

問 今あらためて新たな広報戦略が重要で、広報しおじり以外にSNSなどによる若い層向けの広報チャンネルを作る考えはないか。(村田)

答 参加型民主主義を訴えているが永遠の課題である。

問 どう考えているか。(村田)

答 参加型民主主義を訴えているが永遠の課題である。

問 今あらためて新たな広報戦略が重要で、広報しおじり以外にSNSなどによる若い層向けの広報チャンネルを作る考えはないか。(村田)

答 検討していく。



寄せられた市民の声

る数は平成22年の49人に対し26年は368人と減少している。県では、医学学生修学資金、医師研究資金及び臨床研修医研究資金の貸与等を実施し、市は松本医療圏の病院・診療所が連携した広域連携強化を図りつつ、医師確保は医療機関等へ継続して働きかけた。

◆子育て支援の強化を

問 安心して出産・育児をすすめるために妊娠前からの継続した支援が必要。塩尻版「ネウボラ」構想の考えは。(山口)

答 「ネウボラ」はフィンランド語で助言の場を意味しており子育て世代への包括的支援が重要。核家族化など相談支援の強化が求められている先進地の三重県名張市にて視察を行った。子育てしたくなるまち日本のプロジェクトチームと連携を図り具体的に



市職員が名張市のネウボラを視察

◆学校教育について

問 小規模学校に関する市の基本的な考え方は。(小澤)

答 国の手引きは、一定の集団規模が望ましいとする。市内では小規模校が、長所を生かして教育活動を行っている。

問 18歳選挙権を受け、児童・生徒の社会参加、主権者教育は。(小澤)

答 基本計画に沿って学校・家庭・地域の連携を図りたい。国政選挙は県選管と連携し啓発方法を研究したい。

◆認知されていないいじめは

問 児童生徒の心の叫びを担任先生がどこまで深刻に受け



木曾槽川小学校

教育の充実



検討したい。



とめているか等の実態調査に市としての対応は。(西條)
答 10月が期限となっているが、県教委を通じて文科省に報告する。



子どものためにより良い教育を

◆教職大学院の検討は
問 種々の課題に対応できる教員育成について、市としての考え方は。(西條)
答 県教委の計画で市教委の予定はない。
問 信州大学の教員研修計画への応募予定は。(西條)
答 本年度の希望者はいない。
◆中学校の教科書採択
問 平成26年1月に教科書検定基準が改正されたが社会科の「集団的自衛権」に関わる記述内容は。(永井)
答 文科省で検定合格した中から選定し、教科用図書採択研究協議会で(株)帝国書院に決定した。主な記述内容は「集

团的自衛権の行使は認められない」と考えられてきました。しかし近年、日本を取りまく状況の変化を受けて、2014年に政府は、集団的自衛権を限定的に行使できるという憲法解釈を閣議決定しました。」と記述している。

暮らし易い まちづくり

◆安心して暮らせる社会を

問 中山間地域の医療の考えと生活困難者対策は。(横沢)

答 市内全10地区に平成29年度までに「地域ケア推進会議」を設置する予定。昨年榑川地区、本年は北小野・片丘地区に設置を予定し、高齢者等への支援には、有償ボランティアを導入する考え。医療



特別養護老人ホーム 桔梗荘



保健福祉センター2階に設置された生活就労支援センター「まいさぼ塩尻・東筑」

の確保については医師会等と連携、地域の特性に応じ医療、予防、介護の連携を目指す。
◆生活困難者自立支援制度
問 相談内容と件数は。(古畑)

答 4月からの延べ相談者数は178人で、40歳代から50歳代が一番多く全体の45%を占めている。相談内容では、リストラや雇用契約期間の終了による失業、疾病等により就労継続に不安があるなど、収入減で生活が苦しいという相談が全体の75%を占めている。
◆介護保険について

問 利用者負担が2割になる人と特定入所者生活介護サービス費補足給付は。(永井)
答 8月1日現在の2割負担者は、認定者総数3千36人の内75%に当たる227人で、補足給付の負担限度額認定者は308

人となっている。

◆高いと声があるごみ袋
問 6月議会で検証するとの回答であったがその後どうか。身近な問題に迅速に心える姿勢は重要だが。(村田)

答 分析中である。総合的な判断は、衛生協議会連合会など市民の声を聞きながら本年度中にはまとめる。

◆勤労青少年ホームの運営
問 廃止予定とする塩尻市勤労青少年ホームの、今後の運営計画は。(中野)

答 利用者減少と運営経費との費用対効果を判断し、勤労ホーム事業は今年度で終了とするが、施設の利用者に対しては、要望などを把握し、対処していく。併設の図書館広丘分館と若者サポートステーションは、北部拠点施設との整合性を考慮し判断する。



広丘にある勤労青少年ホーム



設置された防犯カメラ

安全・安心な まちづくり

◆問題のある空き家対策

問 空き家対策条例が7月施行後、具体的にどのような進展があったか。(篠原)

答 倒壊が危惧される空き家16件中3件に解体など進展があった。今後も対象家屋の把握作業など積極的に進めていく。

◆防犯カメラ設置補助を

問 防犯体制強化に効果のある防犯カメラ設置への補助についての考え方は。(西條)

答 犯罪抑止効果のある防犯カメラを設置希望の団体に対して、研究したい。

◆安全で安心なまちづくり

問 危険個所の把握と対応の順位付けは。(平間)

答 消防防災課の各課への紹介や区長からの要望により把握している。危険度、緊急度などを検討し、対応する順位付けをしている。



作業中のロータリー除雪車

◆今冬の雪対策は

問 除雪貸与機械の配備状況と、貸与機械にロータリー除雪車を導入しては。(中野)

答 除雪ドーザ3台と凍結防止剤散布機20台を貸与している。ロータリー車については効率よく排雪できることから、研究していく。

問 オペレーターの免許取得に対する支援策を。(中野)

答 オペレーター確保は重要な課題と認識しており、前向きに考えていく。

待ったなしの 農林業対策

◆鳥獣被害対策について

問 地域ぐるみで取り組んで行くには、どのように進めていけばよいか。(古畑)

答 住民の意識変革を図るための学習会を開催し、正確な知識や有効な防衛策などを学び、地域に出没する鳥獣に合わせた対策を検討していく。

◆急がれる松くい虫対策

問 松くい虫被害の塩尻市への拡大が懸念されるが、最新の状況とその対策は。(篠原)

答 今年に入り市内4本の被害木が確認され、直ちに伐倒処理した。幸い面的な拡大はまだない。監視体制を強化し、確認されれば抜倒し薫蒸処理



松くい虫で全滅に近い松林 (松本市)



稼働をはじめたソナノウッドパーク

◆Fパワープロジェクトへの期待
していく。

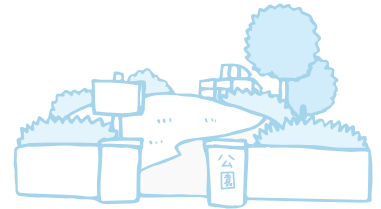
問 Fパワープロジェクトから得られる本市への具体的な波及効果、メリットは何か。(篠原)

答 周辺道路の整備や雇用はもとより民有林の間伐材活用で片丘の森林集約化など森林整備が進むほか、バイオマス関連では木質ペレットの生産と普及が期待される。

◆森林の活用について

問 松くい虫の被害木、風倒木、アカシアのバイオマス発電への利用は。(小澤)

答 松くい虫被害材はチップ化して活用する。他の材は発電の買取り価格に影響。悪条件の中でも森林の持つ公益性を考え林業振興に努めたい。



公共施設の 利便性向上



◆公益施設等の環境整備

問 各施設を横断的に捉え、草取りなど共通課題に対し効率的に対応できる環境整備公社を設置する考えは。(平間)

答 現在は、シルバー人材センターなどに委託している。今後、「お助け隊」などの自主組織やボランティアとの協働を研究していく。

◆公園に水場の建設を

問 市民プール廃止は残念。水遊び場の設置を。(横沢)

答 お母さんや子供たちから、存続への多くの意見があった。何らかの対応を考えたい。

◆道路整備について

問 県道上今井洗馬停車場線



本年度で廃止になった市民プール

藤塚から洗馬小学校までの整備の見通しはどうか。(古畑)

答 地元説明会で幅杭の設置について了承されたので、順次設置を進めていく。順調に進めば、概ね5力年で事業完了を予定している。



手狭な現広丘支所

◆北部地域の機能強化を

問 北部地域は若い世代の人口増加が特徴である。市の北部拠点として生活者の利便性を図るために拠点整備の充実が必要。複合施設としての整備計画は。(山口)

答 北部地域は年少人口・生産年齢人口が高く若い世代の流入が多い。都市機能を充実するために、地区区長会の代表と施設関係者で検討してい

る。支所の機能強化、交流スペースの整備、図書館分館の移転を中心に整備する方向で平成31年4月に開所予定。

観光資源の 活用を



◆高速道路休憩施設の活用

問 国土交通省より通知があった、高速道路の休憩施設を活用した地域の活性化策募集に対する市の対応は。(中野)

答 市内にある検討可能な休憩施設は、みどり湖パーキングエリアがあり、この施設を活用して地域活性化に向けた施設整備の効果について研究を進め、提案の判断をしたい。



みどり湖パーキングエリア

問 ◆交流推進に訪日教育旅行を増加目的で、海外児童・生徒

の訪日教育旅行について、市としての考え方は。(西條)

答 受入れのあり方について研究したい。



海外観光客が増加した奈良井宿

◆広域観光ルート

問 「金沢・高山・松本・プリズムルート」や中部縦貫自動車道等、広域観光への参画について市の考え方は。(西條)

答 松本市観光温泉課と調整、相談して進めたい。

◆観光イベントとの連携

問 信州デザインエーションキャンペーンの考えは。(横沢)

答 J Rを主体に全国的なPRを行い、信州山の日を中心に、鳥居峠を活用し数原、奈良井宿、高ボッチ、塩嶺王城トレイル、塩尻・辰野・岡谷駅を周遊する列車も提案する。



マイナンバー制度の窓口・市民課

市政の諸課題解決は

◆地域課題の解決を

問 地域では人口減少、高齢化で各種役員の負担が大きい。対策が必要では。(山口)

答 行政に関係する役員についてはスリム化に向け調整中。地区特有の職務については、各々の地域で検討が必要。

◆共通番号制度について

問 通知カード送付一カ月前、多くの市民が不安を感じている。市の個人情報漏洩のリスク管理は。(小澤)

答 個人番号の取り扱い、収集、保管、廃棄に必要な対策を講じるよう、研修によって各担当課へ周知し、庁舎内に管理区域を設ける。法改正

の動向を見てリスクを最小限に留めるよう万全を期す。
問 監視社会化が懸念される。利用範囲、カード発行を抑制し、情報保護に万全を尽くすことを求める。(小澤)



子育てしなくなるまち日本一を目指す庁内会議の様子

◆総合戦略について

問 人口ビジョン達成のための、子育て支援、雇用労働環境、住宅政策は何か。(中村)

答 子育て支援の庁内横断的な組織を立ち上げ、事業の洗い出しや事業提案を行っている。雇用労働環境では、しごと・ひと好循環事業の交付申請を行っており、実践型地域雇用創出事業が採択され、観光やICT関連のアドバイザーを新規雇用し、ソフトウェア開発や人材育成を行っている。住宅政策では、塩尻駅北区分整理事業や信州大学と連携し住宅需要調査を行い、移

住安定促進策を進めていく。
◆国施設の市内誘致
問 県が進めている国の森林技術総合研修所の本市への誘致に対する市の関わりは。(篠原)

答 政府が東京一極集中の是正を目的に都道府県に対し募集したものに長野県が応募したものだ。ありがたい話なので県と共同歩調で誘致を強力に進めていきたい。

◆新年度予算編成について

問 新年度予算編成の基本的な考えは。(平間)

答 第五次総合計画の3つの基本戦略分野に集中的に取り組む。また、各事業部に包括的に一般財源を配分し、自律的な予算編成を促す。

◆国からの財政支援の活用は

問 国保への財政支援はどう活用するか。一般会計からの



総合戦略計画書

繰り入れを減らすことはないと思うがどうか。(柴田)
答 当初予算で国からの支援金を前提に一般会計からの繰り入れを予定の半分の6千750万円にしている。



林業を塩尻市の顔に

問 約束が違うので再検討を要望する。(柴田)

◆戦争法案について

問 憲法違反の戦争法案の国会審議が大詰めを迎えている。首相と大臣の答弁が食い違ったり、二つの内部文書で自衛隊の暴走が明らかになるなどのなか、国民の反対の声は大きく広がっている。改めて市長の考えはどうか。(柴田)

答 国会での審議の方向が、戦争する国に向いているのか、しない方向に向かっているのか明確にはわからない。

「塩尻市の財政状況」

(平成26年度
塩尻市決算説明資料より)

塩尻市の起債残高 = 「塩尻市の借金の総額。市民一人当たり約87万円」

(単位：百万円)

	H24	H25	H26
塩尻市	60,798	59,175	58,880

市の一般会計や介護保険事業などの特別会計、水道事業などの公営企業会計などすべての会計を含めた借金の総額。

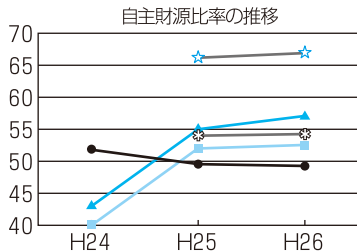
類似団体	H27.1.1人口 ※はH27.3.31人口	備考
塩尻市	67,666人	H17.4.1合併
千曲市	※61,713人	H15.9.1合併
安曇野市	※98,425人	H17.10.1合併
諏訪市	51,162人	—
須坂市	※51,717人	—

塩尻市の財政状況をわかりやすくするため、4つの数字について県内の類似団体の数字と併せて掲載しています。

類似団体＝国（総務省）が人口及び産業別就業人口の構成比によって分類したもので、県内では千曲市と安曇野市、諏訪市、須坂市の4市が、塩尻市と同じ分類です。

※平成25年度から諏訪市、須坂市が類似団体に追加されました。

自主財源比率 = 「収入源を、国や県に頼っていない割合」

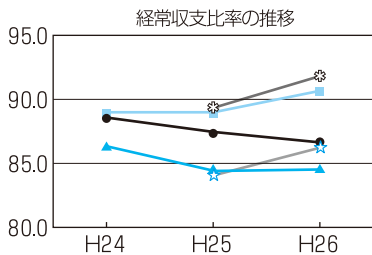


(単位：%)

区分	H24	H25	H26
塩尻市	51.9	49.4	49.1
千曲市	40.3	52.4	52.5
安曇野市	42.9	55.0	57.1
諏訪市	—	66.6	67.2
須坂市	—	54.3	54.3

市が自主的に収入し得る財源（地方税・使用料・手数料・財産収入等）の歳入総額に占める割合。行政活動の自主性と安定性を確保し得るかどうかの尺度。

経常収支比率 = 「数値が少ないほうが、ゆとりがある」



(単位：%)

区分	H24	H25	H26
塩尻市	88.5	87.2	86.8
千曲市	88.6	88.9	90.7
安曇野市	86.3	84.7	84.8
諏訪市	—	84.3	86.5
須坂市	—	89.1	91.9

人件費や公債費等の必ず必要な経常経費に、地方税、地方交付税などの必ず入る経常一般財源がどの程度充当されているかを見ることで、財政の弾力性が判断できる指標。一般的に市は75%程度が妥当とされている。

積立金残高 = 「いざという時のための積立金」

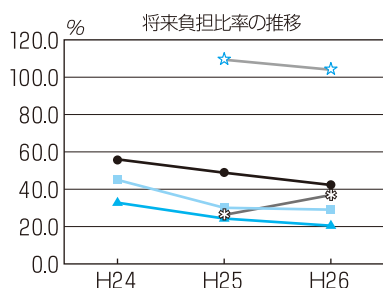
(単位：百万円)

区分	H24	H25	H26
塩尻市	5,736	5,903	6,516
千曲市	9,807	11,956	12,757
安曇野市	14,911	15,656	15,278
諏訪市	—	4,612	4,706
須坂市	—	5,665	5,510

将来の財政需要や不測の事態に備えるために積み立てているもの。



将来負担比率 = 「市の年収に対する借金残高の割合」



(単位：%)

区分	H24	H25	H26
塩尻市	57.1	49.9	41.4
千曲市	45.1	31.2	30.0
安曇野市	33.0	25.1	20.0
諏訪市	—	110.9	103.7
須坂市	—	27.5	38.7

市の一般会計等の地方債（借金）残高のほか、水道事業などの公営企業、市が出資している第3セクター等に対する借金を含めた額から市の標準的な年間収入を割ったもの。国はこの数値が、350%（借金残高が標準年収の3.5倍の額）を超えるとイエローカードとしています。

9月定例会に提出された議案及び議決結果

市長提出議案（42件）

番号	件名	採決結果		議決結果	番号	件名	採決結果		議決結果
		賛成	反対				賛成	反対	
議案1号	平成26年度塩尻市一般会計歳入歳出決算認定について	17	0	認定	22号	財産の無償譲渡について	17	0	原案可決
2号	平成26年度塩尻市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	17	0	認定	23号	財産の無償譲渡について	17	0	原案可決
3号	平成26年度塩尻市奨学資金貸与事業特別会計歳入歳出決算認定について	17	0	認定	24号	市道路線の認定について	17	0	原案可決
4号	平成26年度塩尻市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	17	0	認定	25号	平成27年度塩尻市一般会計補正予算（第3号）	17	0	原案可決
5号	平成26年度塩尻市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	17	0	認定	26号	平成27年度塩尻市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	17	0	原案可決
6号	平成26年度塩尻市国民健康保険榑川診療所事業特別会計歳入歳出決算認定について	17	0	認定	27号	平成27年度塩尻市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	17	0	原案可決
7号	平成26年度塩尻市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	17	0	認定	28号	平成27年度塩尻市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	17	0	原案可決
8号	平成26年度塩尻市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について	17	0	原案可決及び認定	29号	平成27年度塩尻市水道事業会計補正予算（第1号）	17	0	原案可決
9号	平成26年度塩尻市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について	17	0	原案可決及び認定	30号	平成27年度塩尻市下水道事業会計補正予算（第1号）	17	0	原案可決
10号	平成26年度塩尻市農業集落排水事業会計剰余金の処分および決算認定について	17	0	原案可決及び認定	31号	和解及び損害賠償の額の決定について	17	0	原案可決
11号	塩尻市手数料徴収条例の一部を改正する条例	17	0	原案可決	32号	平成27年度塩尻市一般会計補正予算（第4号）	17	0	原案可決
12号	塩尻市個人情報保護条例の一部を改正する条例	17	0	原案可決	報告1号	損害賠償の額の決定の専決処分報告について	-	-	報告受理
13号	塩尻市障害者福祉センター条例を廃止する条例	17	0	原案可決	2号	損害賠償の額の決定の専決処分報告について	-	-	報告受理
14号	塩尻市障害者就労支援施設条例を廃止する条例	17	0	原案可決	3号	健全化判断比率について	-	-	報告受理
15号	塩尻市介護予防交流施設条例の一部を改正する条例	17	0	原案可決	4号	資金不足比率について	-	-	報告受理
16号	塩尻市片丘新農業構造改善事業地域環境施設条例の一部を改正する条例	17	0	原案可決	5号	平成26年度及び平成27年度株式会社信州ファームの経営状況を説明する書類の提出について	-	-	報告受理
17号	塩尻市林業総合センター条例を廃止する条例	17	0	原案可決	6号	平成26年度塩尻市土地開発公社の経営状況を説明する書類の提出について	-	-	報告受理
18号	塩尻市木曾高等漆芸学院条例の一部を改正する条例	17	0	原案可決	7号	平成26年度一般財団法人塩尻市文化振興事業団の経営状況を説明する書類の提出について	-	-	報告受理
19号	塩尻市デイサービスセンターの指定管理者の指定について	17	0	原案可決	8号	平成26年度一般財団法人塩尻・木曾地域地場産業振興センターの経営状況を説明する書類の提出について	-	-	報告受理
20号	塩尻市老人福祉センターの指定管理者の指定について	17	0	原案可決	9号	平成26年度一般財団法人塩尻市振興公社の経営状況を説明する書類の提出について	-	-	報告受理
21号	塩尻市文化会館の指定管理者の指定について	17	0	原案可決	10号	平成26年度一般社団法人塩尻市農業公社の経営状況を説明する書類の提出について	-	-	報告受理

議員提出議案（3件）

番号	件名	採決結果		採決結果
		賛成	反対	
議会1号	国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める意見書	17	0	可決
2号	私立高校への公費助成に関する意見書	17	0	可決
3号	労働基準法改定案の撤回を求める意見書	13	4	可決

請願・陳情処理状況（請願2件・陳情3件）

番号	件名	採決結果		採決結果
		賛成	反対	
請願6月2号	平和安全法制の整備に反対する請願	6	9	不採択
請願1号	国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める意見書提出に関する請願	17	0	採択
陳情6月3号	「安全保障関連法案」の撤回・廃案を求める意見書採択を求める陳情	総務生活委員会		不採択
陳情1号	私立高校に対する公費助成をお願いする陳情	福祉教育委員会		採択
2号	労働基準法改定案の撤回を求める意見書の採択を求める陳情	産業建設委員会		採択

意見が分かれた請願等の採決結果

・賛成は○、反対は×、退席は－
 ・議長は表決に加わらないため、17人の議員で採決が行われました。

番号	件名	議員名																	
		小澤彰一	篠原敏宏	平間正治	村田茂之	中野重則	横沢英一	西條富雄	金子勝寿	山口恵子	牧野直樹	古畑秀夫	永井泰仁	中原巳年男	中村努	丸山寿子	柴田博	永田公由	
請願平成27年6月2号	平和安全法制の整備に反対する請願（不採択の委員長報告に対して）	×	×	－	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×
議会第3号	労働基準法改定案の撤回を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×	○	○	○	

今年4月に伊那市から故郷塩尻へ引越してきました。以前に比べ社会インフラは箱物や道路中心に整ってきた反面、多くの地方

高齢化対応のモデル都市へ



大門並木町 久明さん

都市同様、中心市街地の空洞化と高齢化の進展がみられ、特に買物や通院等に困っている高齢者や生活弱者の増加が懸念されます。

そこで、これからの方向性として箱物より生活サービスの向上といったソフト面に特色のある「高齢化対応モデル都市」を目指していければいいと思います。

若年層の方もいずれは高齢者。決して他人事ではないのです。5年先、10年先を見据え、高齢者を含めた幅広い市民の声をぜひ施策に反映させて欲しいのです。個人の力は非力でも皆が智恵を出し合い協力することで、生活弱者が軽い負担で安心して暮らせる街になれたらいいと思います。

市民の声

先日、銭湯に行く機会があった。それも番台に人が座っている昔ながらの銭湯に。そんな昭和の匂いがする銭湯をいつまでも残しておいて欲しいと、強く思った。なぜなら、そこには人の輪があり、和やかな空間を感じたからだ。



広丘吉田 緑さん

さらに銭湯は利用しやすい。ドアを開けて番台に料金を払えば、すぐの辺りに脱衣所があることが嬉しい。スーパリー銭湯だとそうはいかないし、それにプライバシーが重視されすぎていて、コミュニティ

ケーションも図りにくい。だから銭湯は大事な場所だと思った。また銭湯に限らず商店、食堂、宿泊施設など、昔から語られる場としてある小さな空間が、ホッとできる場所にもなっていることにも気付く。

塩尻の街が、そういった小さな人の輪を大切にし、人と人が助け合い支えあえる街であることを願いたい。

市議会レポート

塩尻市・糸魚川市議会親善交流会

平成27年8月6日、7日、猛暑の2日間、姉妹都市新潟県糸魚川市議会との親善交流会が、糸魚川市で開催されました。

市内視察では、今年の3月にリニューアルオープンしたフォッサマグナミュージアムや北陸新幹線糸魚川駅高架下に建設された糸魚川ジオステーション「ジオパル」を訪れました。フォッサマグナミュージアムには、糸魚川を代表する鉱物「ヒスイ」や日本列島が誕生した際の大地の裂け目「フォッサマグナ」の解説などの展示があり、自然環境と資源の恵みや地震などの自然災害などについて学ば事が

できました。

また「ジオパル」については、「糸魚川世界ジオパーク」の魅力を発信する役割を担う施設となっている一方で、鉄道実車両、模型、プラレールに親しみ楽しむことのできる交流施設となっており、全国から多くの鉄道ファンが訪れていました。

その他、新潟県立海洋高等学校を視察するなど、大変有意義な親善交流会となりました。



リニューアルされたフォッサマグナミュージアム

12月定例会の予定

Table with 2 columns: Date and Event. Rows include 11月30日 開会日, 12月8-11日 代表・一般質問, 12月14-16日 委員会審査, 12月21日 閉会日.

会議の日程は変更になる場合があります。

本会議を生中継しています!

テレビ松本ケーブルテレビの「塩尻市行政チャンネル(J706)」で市議会本会議の生中継を行っています。...

議会あれこれ

◆今議会でもいろいろ議論が交わされた。言葉を活用してのある種の戦いでもあるが、何を言っても良いわけではない。使った言葉や発言内容には責任が伴う。ましてや一貫性のない発言はもつてのほか、真摯で、より良い議論に努めたいものだ。

◆参院安保法制特別委終盤、中央公聴会でのシルズ氏の奥田愛基氏の発言は衝撃的だった。「与野党の皆さん、どうか若者に希望を与えるような政治家でいてください」彼は大学四年。市議会でも、若者と夢が語り合える議員たり得るか、重要な課題である。

◆質問翌日の新聞記事は気になるもの。第三者の評価としても参考になる。記事の大小、顔写真が載るかどうかが、質問の意図が伝わったかどうか。記者の表現により左右されることも。多くの市民の目に触れる情報媒体であるだけに、敏感になるものである。

議会基本条例推進委員会 広報部会

- 山口 恵子 ○篠原 敏宏
小澤 彰一 平間 正治
横沢 英一 丸山 寿子
◎ 部長 〇 副部長